

ものづくり実学入門 磨け！ 技術革新の技と心

吉永文雄 A5判 168ページ 本体 1,800円



現場を知り、現物を見る……。社会が変わり、技術が進んでも、ものづくりの本質は変わらない。経験と実践の積み重ねこそが、新たな革新を生み出す。明日のものづくりには、中核となる固有技術はもちろん、高い技能、広い視野と教養、そして複眼的思考と行動力が求められている。ものづくりの技を磨き、心を鍛え、技術革新を目指すヒントが、ここにある。

プロローグ ものづくりの技と心を学ぶ

第1章 加速する技術革新とものづくり 製品・生産の革新/ものづくり環境の3つの変化

第2章 ものづくりの構図 フローで見たものづくり/ものづくりの価値創出とソフトウェア構造

第3章 ものづくりの技と心 技術とマネジメント/技術・技能の重要性とありがた/安全・安心と信頼

第4章 事例で見るものづくりの技と心 事例と視点・論点/新幹線車両先頭構体/電車側窓艤装ロボット/アルミ大型型材自動加工機/小型ヘリウム冷凍機タービン/超音波顕微鏡センサ

第5章 ものづくり技術革新への提言 経験事例を通して知ること/シーズ・ニーズの宝庫「製造・生産技術」/知恵と技術の宝庫「特許電子図書館」/効果的な創生方法/成功の原則は「諦めないこと」

第6章 プロフェッショナルへの道 技術者の理想像/CPDとキャリアデザイン/複眼的な思考と行動

エピローグ ものづくりの技と心を伝える